

# 取扱説明書

(保証書一体)

UCC ミルクカップフォーマー  
品番 MCF30



## もくじ

ページ

### お使いになる前に

安全上のご注意	1~2
各部の名称と使いかた	3~4

### 使いかた

ご使用方法	
〈泡立て(ミルクフォーム)〉	5~6
〈温め(ホットミルク)〉	7~8

### お使いいただく上で

お手入れ	9
故障かな?と思ったとき	9
ワンポイントアドバイス	10
仕様	10
点検のお願い	10

保証書とアフターサービス 裏表紙

### このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ・ご使用前に1~2ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・この商品は一般家庭用、及び店舗のキッチン、事務所、ホテル、その他の住環境において使用することを目的としています。屋外では使用できません。
- ・この商品を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。

For use in Japan only.

あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を2つに区分しています



**警告：** 死亡や重傷を負うおそれがある内容



**注意：** 軽傷を負うおそれや物的損害が発生するおそれがある内容

- お守りいただく内容を図記号で説明しています



してはいけない「**禁止**」の内容



必ず実行していただく「**強制**」の内容



## 警告

- やけどに注意してください



- 使用中はカップふたは確実に閉める  
・内容物が勢よく溢れでることがあります(やけどの原因)



- カップをベース以外の場所に置く場合は、カップカバーを必ず閉じる(やけどの原因)

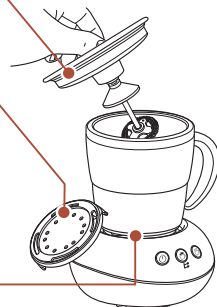
- 使用中は、製品を動かさない  
・カップが倒れるおそれがあります(やけどの原因)

- MAX(最大)目盛り以上の内容物を入れない  
・ふきこぼれるおそれがあります(やけどの原因)



- 使用中や使用後はヒータープレートに触れない(やけどの原因)

- 使用中や使用後はカップ底に触れない(やけどの原因)



- 電源コードやさし込みプラグの取り扱いに注意してください



- 交流 100V のコンセントを使う  
・容量の大きい他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱することがあります。(発火・火災の原因)

- さし込みプラグは根元まで確実にコンセントにさし込む(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- さし込みプラグに付いたほこりなどは、定期的に取り除く  
・湿気などで絶縁不良となります。(絶縁不良による発火・火災の原因)  
→ さし込みプラグを乾いた布で拭いてください。



- めれた手でさし込みプラグを抜きさししない(感電の原因)



- 電源コードやさし込みプラグを破損するようなことはしない  
・傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- 電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントへのさし込みが緩いときは使用しない(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- 事故を避けるために守ってください



- 子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない(やけど・感電・けがの原因)



- 分解・修理・改造はしない(火災・感電・けがの原因) → 修理は UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンター (P10) にご相談ください。



● ベースを水につけたり、水をかけたりしない

(感電・ショートによる発火の原因)



● 異常・故障時にはただちに使用を中止し、さし込みプラグをコンセントから抜く

(発煙・発火・感電・やけど・けがのおそれ)

< 異常・故障例 >

- ・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷している。
- ・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い。
- ・電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。
- ・製品がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする。
- ・動作中に製品から異常な音がする。

※ UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンター (P10) へ点検・修理を依頼してください。



## 注意

● 以下のような場所では使わないでください



● 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

(火災の原因)

● 火気の近くで使わない

(火災の原因)

● さし込みプラグの取り扱いに注意してください



● さし込みプラグを抜くときは、電源コードを持たず

に必ずさし込みプラグを持って引き抜く

(感電・ショートによる発火の原因)



● 使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く

(絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)

● 部品の取り付け・取り外し・お手入れのときは、さし込みプラグをコンセントから抜く

(けが・やけどの原因)

● やけどやけがに注意してください



● 使用中はカップふたを開けない

(やけどの原因)

● 使用中や使用後しばらくの間、本体を動かさない

(やけどの原因)



● 使用中や使用後は高温部(ヒータープレート、カップ底)に触れない

(やけどの原因)



● お手入れは冷めてから行う

(やけどの原因)

お使いになる前に

## お願い

- ・使用前後はカップやカップふたをキレイに洗い、使用後は水滴を拭いて保管してください。乳成分が残っている場合、ニオイや腐敗の原因になります。
- ・金属ピンなどの異物、固形物などを入れて、使用しないでください。
- ・ヒータープレートには液体がかからないようにしてください。(故障の原因)
- ・カップ底が濡れた状態で使用しないでください。(故障の原因)
- ・使用時にカップとヒータープレートの間に、異物がかみこまぬようにしてください。
- ・内容物が飛び散るおそれがありますので、カーペットや液体が染み込みやすいテーブルクロスの上などでは使用しないでください。
- ・リングなどの小さな部品を誤って口に入れたり、飲み込んだりしないようにしてください。
- ・カップを水につけて放置しないでください。カップ内部に水が入りこむおそれがあります。
- ・カップは食器洗い機、食器乾燥機に入れしないでください。熱により部品が変形するおそれがあります。また、電子レンジに入れしないでください。変形したり、火花が飛びおそれがあります。
- ・ベースを落とした場合は、差込プラグをコンセントから抜いて、UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンターにご相談ください。火災・感電の原因となります。
- ・カップには内容物を入れた状態で長い時間放置しないでください。成分の腐敗や変質の原因となります。塩分を多く含んだ内容物がフッ素加工のまがれの原因となります。

- ・カップに長時間、ミルクを入れて放置せず、すぐにお使いください。
- ・カップを洗う時に、塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属たわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。(フッ素加工のまがれの原因)
- ・ミルクフォームを飲むときはカップを急に傾けないでゆっくり飲んでください。急に傾けると、内容物が勢いよく口元に触れ、やけどの原因になります。
- ・カップふたには気密性はありません。持ち運ぶときには内容物がこぼれないように注意してください。
- ・カップはストーブやコンロなどに近づけないでください。変形や変色の原因になります。
- ・カップふたのパッキンは確実に取り付けてください。吹きこぼれたり、泡立てができないことがあります。
- ・カップはコーヒーマシンやお茶に含まれる成分により、内側が茶色に変色する場合があります。そのまま使用しても問題ありませんが、気になる場合は、市販の洗浄用クエン酸で洗って使用してください。
- ・カップに熱湯を注がないでください。(変形の原因)
- ・カップを冷凍庫に入れないでください(変形の原因)
- ・カップはハンドルを持って振り回さないでください。(破損の原因)
- ・ヒーターカバーを持って移動させないでください(故障の原因)
- ・内容物を入れずに操作しないでください。(故障の原因)

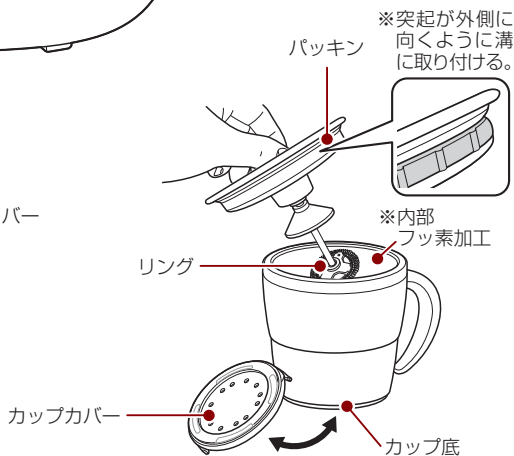
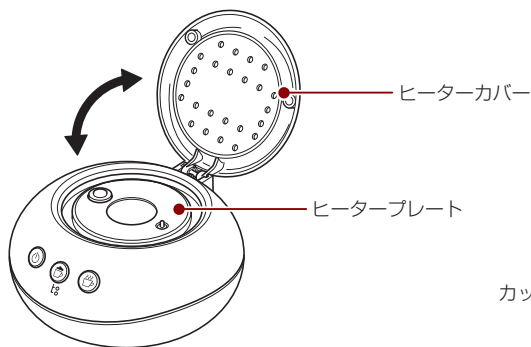
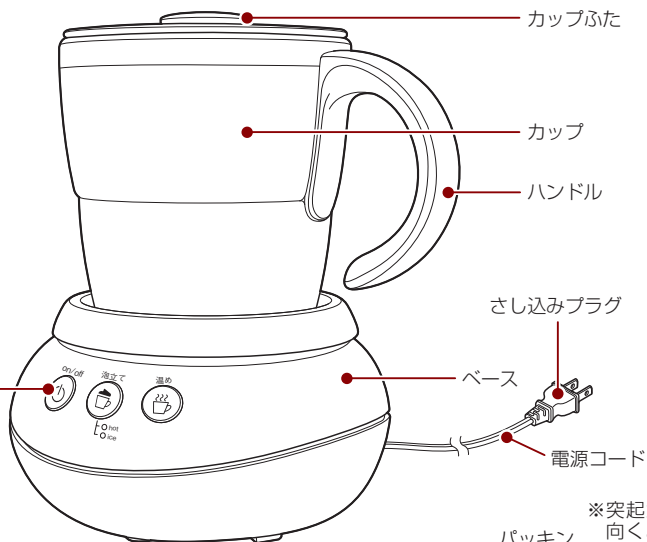
# 各部の名称と使いかた

## 特長

本機でミルクフォームやホットミルクをお作りいただけます。そのままカップにコーヒーなどを注ぎ入れ、召しあがることができます。また、注ぎ口を取り付け、お客様がご用意されたカップにミルクフォームを注ぐこともできます。

## 使用できるミルクについて

本機では、ミルク全般をお使いいただけます。成分無調整乳、無脂肪乳、低脂肪乳、豆乳など。ミルクの成分により、泡立ちにくい場合があります。

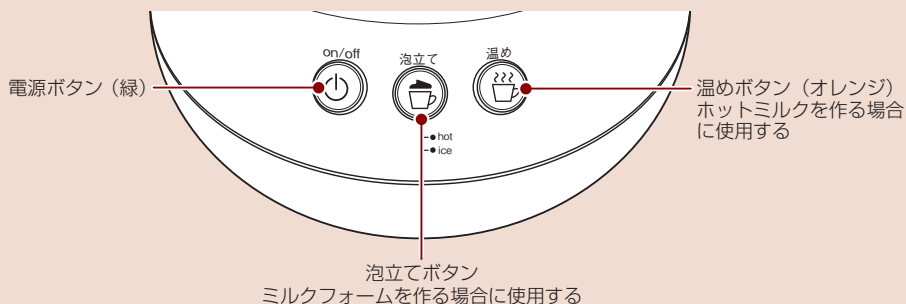


## 付属品

お客様がご用意されたカップにミルクを注ぐ場合に使用する

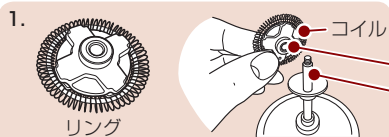


## 操作ボタン

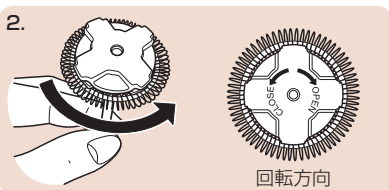


- 1 度押し: hot<ホットミルクフォーム (オレンジ)>
- 2 度押し: ice<アイスマルクフォーム (青)>

## リング取り付け



### 1. リングの差し込み穴と軸を合わせる



### 2. 軸を固定しながらリングを反時計回りに回転させ、取り付ける

- ・回転が止まるまで、しっかり回して取り付けてください。
- ・外す場合は、時計方向に回転させてください。

#### ⚠ 注意

- ・コイルが変形しないように取り付けてください。

## カップ内側容量目盛

### フッ素加工

ご使用により摩耗、はがれが発生しても人体に害はありません。



ミルクフォーム (hot、ice) を作る場合  
泡立て用  
MAX (最大) 表示 (約 70mL)



ホットミルクを作る場合  
温め用  
MAX (最大) 表示 (約 140mL)

※MAX (最大) 容量以上の内容物を入れると溢れだすことがあります。  
各目盛以下の容量でお使いください。

# ご使用方法

## ご使用方法 〈泡立て(ミルクフォーム)〉

### 使用できるミルクについて

本機では、ミルク全般をお使いいただけます。成分無調整乳、無脂肪乳、低脂肪乳、豆乳など。ミルクの成分により、泡立ちにくい場合もあります。



### 1. お好みの量のミルクをカップに入れる

カップ内側の表示を確認しながら、ミルクを入れる

ミルクの容量はMAX (最大) 70mL です。  
MAX (最大) 目盛り以上入れないでください。  
溢れることがあります。

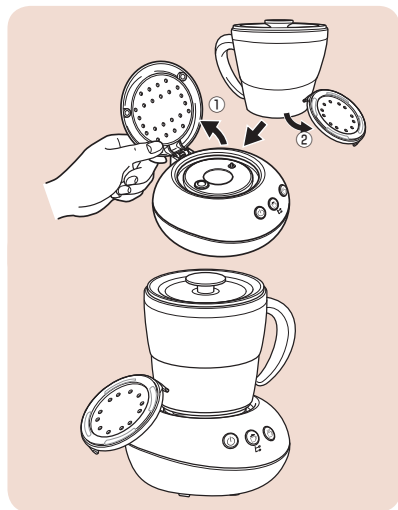
※ミルクの量が少ない場合、しっかり泡立たない場合があります。



### 2. カップにリング付きカップふたを取り付ける

#### ⚠ 注意

- ・カップふたのバックンは確実に取り付けてください。
- ・カップふたが浮き上がらないように、しっかりとカップにセットしてください。

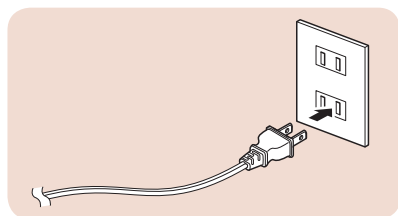


### 3. ベースにカップをセットする

- ①ヒーターカバーを開く。
- ②カップカバーを開いて、ヒータープレートにカップを置く。

#### ⚠ 注意

- ・ヒーターカバーやカップカバーが閉じた状態では、電源が入りません。
- ・使用中/使用後はヒータープレートは大変熱くなっていますので触れないでください。
- ・ヒータープレートとカップ底の間に異物がないことを確認してください。
- ・ヒータープレートとカップ底が濡れていないことを確認してください。



### 4. さし込みプラグをコンセントにさし込む



## 5. 電源ボタンを押す

電源ボタンが点灯する。(泡立てボタン、温めボタンは点滅)  
 ※ヒータープレートの上にカップがない場合は、電源は入りません。  
 ※電源を入れ、10分以上操作をしない場合やカップをベースから取り外すと電源が自動でオフになります。



## 6. 泡立てボタンを押し、メニューを選択する

泡立てボタンを押し、hot (ホットミルクフォーム) (1度押し)、もしくは ice (アイスマルクフォーム) (2度押し) を選択すると泡立てボタンが点灯し、泡立てが始まります。  
 ※2度押しは5秒以内に行なってください。

### ⚠ 注意

- ・ミルクフォームを作る途中でカップを持ち上げないでください。リングの回転がストップし、電源がオフになります。
- ・ミルクフォームを作る途中でカップふたを開けないでください。異常を検知しストップします。※3つのランプが点滅します。ミルクフォームを再度作りたい場合は、ベースからカップを外してリセットし、操作5より繰り返してください。
- ・内容物を入れないうまま泡立てボタンを押さないでください。故障の原因になります。



hot (ホットミルクフォーム)  
1度押し (オレンジ)  
ice (アイスマルクフォーム)  
2度押し (青)



hot 60～90 秒  
ice 90～100 秒

カップカバーを閉じて  
お召しあがりください。

## 7. 泡立て(ミルクフォーム)完了

最適なミルクフォームになると、自動で停止し、選択したボタンが消灯します。

- ・ミルクフォームに要する時間は MAX (最大) 容量で hot は 60～90 秒、ice は 90～100 秒です。
- ・カップをベースより外すと、電源がオフになります。

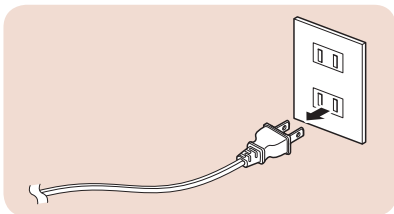
### ⚠ 注意

- ・hot (ホットミルクフォーム) を使用した後、すぐには ice (アイスマルクフォーム) を作ることはできません。ヒータープレートが熱くなっていると、最適なミルクフォームができませんので、時間をおいてヒータープレートが冷めてからお使いください。
- ・ヒータープレートが熱くなりすぎた場合は、3つのランプが点滅しお知らせします。
- ・ミルクの種類によっては、泡立ちが足りない場合があります。
- ・使用後はヒータープレートが高温になっていますので触れないでください。

## 8. さし込みプラグをコンセントから抜く

### ⚠ 注意

- ・本機には保温機能はついていません。



# ご使用方法 (つづき)

## ご使用方法 〈温め(ホットミルク)〉



### 1. お好みの量のミルクをカップに入れる

カップ内側の表示を確認しながら、ミルクを入れる。

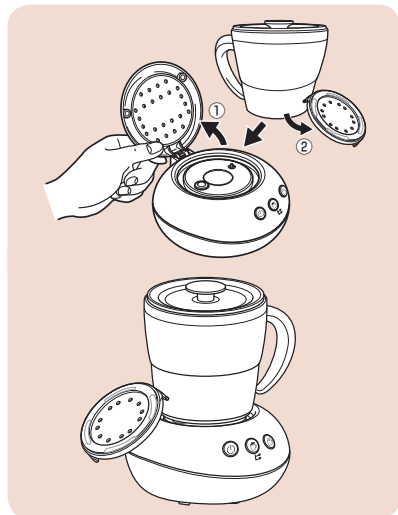
ミルクの容量はMAX(最大) 140mLです。  
MAX(最大) 目盛り以上入れないでください。  
溢れることがあります。



### 2. カップにリング付きカップふたを取り付ける

#### ⚠ 注意

- ・ カップふたのパッキンは確実に取り付けてください。
- ・ カップふたが浮き上がらないように、しっかりとカップにセットしてください。

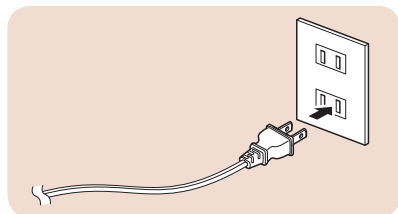


### 3. 本体にカップをセットする

- ①ヒーターカバーを開く。
- ②カップカバーを開いて、ヒータープレートにカップを置く。

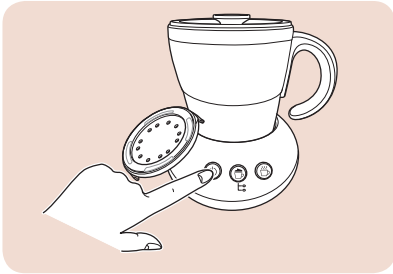
#### ⚠ 注意

- ・ ヒーターカバーやカップカバーが閉じた状態では、電源が入りません。
- ・ 使用中/使用後はヒータープレートは大変熱くなっていますので触れないでください。
- ・ ヒータープレートとカップ底の間に異物がないことを確認してください。
- ・ ヒータープレートとカップ底が濡れていないことを確認してください。



### 4. さし込みプラグをコンセントにさし込む





## 5. 電源ボタンを押す

- 電源ボタンが点灯する。(泡立てボタン、温めボタンは点滅)  
※ヒータープレートの上にカップがない場合は電源は入りません。  
※電源を入れ、10分以上操作をしない場合やカップをベースから取り外すと電源が自動でオフになります。



## 6. 温めボタンを押す

ボタンが点灯し、温めが始まります。

### ⚠ 注意

- ・ 泡立てボタンを押さないでください。  
ミルクが溢れだすおそれがあります。
- ・ 温めの途中でカップを持ち上げないでください。  
リングの回転がストップし、電源がオフになります。
- ・ 温めの途中でカップふたを開けないでください。  
異常を検知しストップします。※3つのランプが点滅します。
- ・ 温めを再度行いたい場合は、ベースからカップを外してリセットし、操作5より繰り返してください。
- ・ 内容物を入れないまま温めボタンを押さないでください。  
故障の原因になります。

## 7. 温め(ホットミルク)完了

最適な温度になると、自動で停止し、  
選択した温めボタンが消灯します。

- ・ 温め(ホットミルク)に要する時間はMAX(最大)容量で約100～160秒です。
- ・ カップをベースより外すと、電源がオフになります。

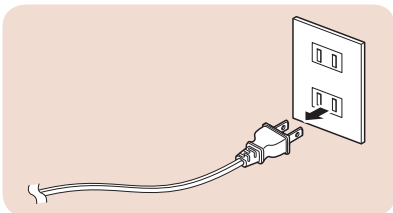
### ⚠ 注意

- ・ 続けてホットミルクを作る場合は、ヒータープレートが熱くなっていると最適なホットミルクができませんので、時間をおいてヒータープレートが冷めてからお使いください。
- ・ ヒータープレートが熱くなりすぎた場合は、3つのランプが点滅しお知らせします。
- ・ 使用後はヒータープレートが高温になっていますので触れないでください。

## 8. さし込みプラグをコンセントから抜く

### ⚠ 注意

- ・ 本機には保温機能はありません。



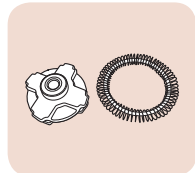
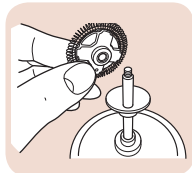
# お手入れ



- 台所用中性洗剤を使用してください。
- カップはスポンジなどで乳成分が残らないように、しっかり洗ってください。

## △ 注意

- ・ カップは水の中につけたまま放置しないでください。カップの内部に水が入りこむおそれがあります。
- ・ カップを洗う時に、塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属たわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。カップ内側のフッ素加工がはがれたり、傷つくことがあります。
- ・ カップは食器洗い機、食器乾燥機に入れないでください。熱により部品が変形するおそれがあります。



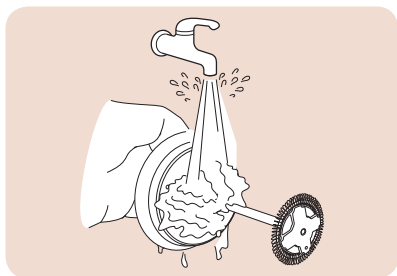
- リングのコイルは外して分解することができますので、乳成分が残らないようにしっかり洗ってください。

## △ 注意

- ・ コイルは変形しないように、注意しながら分解してください。
- カップふた軸根元部は蛇口の水をかけ、しっかり洗い流してください。  
※洗浄後は、しっかりと乾燥させてください。
- ベースはかたく絞ったふきんで拭いてください。  
※ヒータープレートが十分に冷めてから行ってください。

## △ 注意

- ・ ベースは水洗いしないでください。



# 故障かな？と思ったとき

※お問い合わせや修理を依頼される前にお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	直しかた	参照
電源が入らない	さし込みプラグが外れていませんか？	さし込みプラグをさし込んでください。	—
	ヒーターカバーの上にカップを置いていませんか？	ヒーターカバーを開いてカップを置いてください。	P.5, P.7
	カップカバーを閉じてカップをベースに置いていませんか？	カップカバーを開いたカップをヒータープレートの上に置いてください。	P.5, P.7
	カップが浮いたり、傾いたりしていませんか？	カップを確実にセットしてください。	—
	ヒータープレートとカップ底の間に異物はありませんか？	異物をとりのぞいてください。	P.5, P.7
3つのランプが点滅している	連続で使用していませんか？	ヒータープレートが熱くなりすぎているので、しばらく時間をおいて冷めてからご使用ください。	P.6, P.8, P.10
ミルクフォームができない	リングがついていますか？	リングを取り付けてください。	P.4
	温めボタンを押していませんか？	中央の泡立てボタンを選択してください。	P.6
カップから異臭がする	前回使用時の乳成分が残っていませんか？	しっかりカップやリングの洗浄を行ってください。	P.9
内容物が溢れる	内容物をMAX(最大)容量以上入れていませんか？	カップ内側目盛りの容量を確認してください。	P.4
泡立て(hot)がぬるい	泡立てボタンを2度押していませんか？	泡立てボタンは1度押しで、hotの選択になります。	P.6

# ワンポイントアドバイス

## ● 連続でお使いの場合

hot 泡立て（ホットミルクフォーム）を3回以上連続で操作すると、ヒータープレートが熱くなり仕上がりが安定しません。2時間程度、使用を控えてお待ちください。

## ● 時間が経過して泡が小さくなり、消えてしまった場合

泡立てボタンを再度押し、追加泡立てを行うと泡立ちが戻ります。

## ● 複数のカップが欲しい場合

カップ単体での販売を行っておりますので、お買い求めください。

## 仕様

電 源	交流 100V 50/60Hz 共用
消 費 電 力	480W
最 大 容 量	泡立て（ミルクフォーム）：70mL 温め（ホットミルク）：140mL
製品の大きさ	幅約 15.8cm 奥行約 13.2cm 高さ約 17.9cm
製品の質量	約 1.0kg（ベース＋カップ）
カップの容量	300mL
電源コードの長さ	1.1m

※さし込みプラグをコンセントにさし込んだだけの消費電力は、約0.5Wです。（カップがセットされている場合）

※仕様は改善のため、予告なく変更することがあります。

※特定地域（高地、厳寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

※この製品は、電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

海外で使用し故障した場合、アフターサービスや無償修理保証の対象外になります。

## 点検のお願い

### 愛情点検



安全に長くご愛用いただくために、  
日頃から点検をおこなってください

### このような症状はありませんか？

- ・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷をしている
- ・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする
- ・動作中、本体から異常な音がする

### 処置

さし込みプラグを抜いてご使用を中止してください。故障や事故防止のため、使用せずにUCC・コーヒーマシン・カスタマーセンターへご相談ください。

### UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンター

電話番号 | ☎ 0120-887-445

受付時間 | 10:00～18:00

営業日 | 月～金（祝日 年末年始を除く）

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（消耗品は対象外です）

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

- **保証期間中の修理**  
保証書の記載内容により、修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
  - **保証期間が過ぎた後の修理**  
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンターにご相談ください。
- ## アフターサービスのお問い合わせ
- 修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンターにお問い合わせください。

# UCC

## 保証書

持込修理

ミルクカップフォーマー		品番 MCF30
※お客様	お名前 ふりがな	様
	ご住所 〒□□□-□□□□	
	電話 ( ) -	
保証期間	本体 <b>1年</b>	※お買い上げ日 年 月 日から
※販売店	住所・店名	電話 ( )

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理は、修理により使用できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、UCC・コーヒーマシン・カスタマーセンターにご相談ください。

修理メモ

- ※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## 【無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベルその他の注意書きにそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にもとづき無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の落下、輸送などによる故障および損傷。
  - 火災、天災地変（地震・風水害・落雷など）、塩害、ガス害、公害、異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - 車両、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。
  - 本書のご提示が無い場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
  - 消耗品の交換。
  - ご使用による容器の汚れ。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

UCC上島珈琲株式会社 〒650-8577 神戸市中央区港島中町7丁目7番7号